

教育目標 ふるさとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成「笑顔いっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい」



# 東小だより

## 長月号

### 二学期スタート

八月二十日(木)から二学期が始まりました。

例年より十日早く、十日長い学期になります。学校行事も運動会、学習発表会、マラソン大会、自然体験活動(五年生)、修学旅行(六年生)と盛りだくさんです。今は、感染症が終息し、計画通りに実施ができることを願うばかりです。子供たちが期待し、努力の成果を試すことのできる学校生活となるように、私たち教職員も情報収集と状況把握をもとに、最善の方法を探しながら、校務を進めてまいります。ただ、現状としましては、様々な教育活動の制約により、子供たちが他者から認められ、励ましを受ける機会が不足しているように感じます。その中であつて、皆様方からの温かいご声援が何よりも大きな励みとなります。子供たちの活動の姿を目にされましたら、大いに言葉かけをお願いいたします。まずは、十月十日(日)に開催します運動会の成功を目指します。当日は午前中のみ短い時間ではございますが、例年に劣らぬプログラムを編成し、東つ子の輝く姿をご覧いただけることと期待に胸膨らませていくところですので、ご参観よろしく申し上げます。

### 運動場復旧・トイレ改修工事開始

運動場が復旧しました。今回は運動会に向けての仮復旧となります。市当局のご配慮により早急な対応をいただきました。またトイレの工事も始まりました。完全洋式化とドライ方式の導入のための工事です。どちらの工事も教育活動に支障をきたさないように、ご配慮いただいております。工事期間中は、子供たちに多少不便さを感じさせることがあるかと思いますが、学校全体で工夫しながら対応してまいります。ご理解をお願いします。なお、工期は令和三年二月までとなっておりますことを申し添えます。



復旧工事が終わった運動場

### 自己有用感を高めま

自己有用感という言葉があります。人間関係において自分の存在を価値あるものとして受け止められる感覚を言います。刃の役に立った。「俺の人に喜んでもらえた。」等、他者の存在や他者との関わりを前提にして自分の存在を捉えている場合の心持ちです。一学期は、子供たち一人一人の自尊心を高められよう、自分の良さに着目させながら掲げた目標に向かう姿勢を大切にしてみました。二学期は、それを基盤に自己有用感を高め、一歩進んだ自分を、友達や家族との関わりの中で感じられる心と言動づくりに取り組みたいと考えます。

下図のアンケートの結果からも自己肯定感、自尊心の高まりよりも自己有用感が低い状況が見られました。東つ子一、二、四人の良さを、一、二、四個の刃の役に立つ力」として捉え、個性の伸長とともに、深い絆づくりをより一層進めていきます。そのことで学びや生活することの成果が実感できる東小を目指します。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

◆学校生活について	「楽しい」・・・94.3% (116人)
◆授業について	「分かる」・・・93.5% (115人)
◆自己肯定感について	「高い」・・・81.3% (100人)
◆自己有用感について	「高い」・・・76.4% (94人)

### 子供たちの理解と支援のために

子供たち一人一人の個性や能力、教育的ニーズを理解した上で、その子の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するための、適切な指導や支援を行う「特別支援教育」という教育分野があります。障がいのある無や一人一人の違いを認識しながら、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会づくりをめざしています。特別支援教育は、特別扱いをするのではなく一人一人に合わせた行おうという個に応じた教育です。本校では、学習や生活の場面で困り感をもっている子供たちに関して、保護者方々の相談に応じ、学校全体で子供たちを支援していく相談体制の充実と支援の工夫に取り組んでおります。かけがえのない大切な子供たちが、楽しい学校生活や伸び伸びと毎日を送るためには、皆様方の子供たちへの正しい理解が必要です。もし、気になられることがありましたらお気軽に、本校特別支援教育コーディネーター 河原教諭)まで一報ください。

### あとがき

ある本にあった文章です。少し長いですが全文を示します。

人生の大きいよろこびの一つは、ことばと文字をもち、読み書きのすべてを伝授されたことにある。これがあるがゆえに人は、ひとりひとりの寿命こそ短い、祖先から子孫に通じて文化の継承という永遠の発展性もち、宇宙の秘められた調和と法則をも解明することができる。また個人の生涯においても、人は読書により古今の賢者を師として、はるか数千年の歴史をさかのぼり、また広く東西の知識を学ぶことができるが、読書を外にしては祖先がのこしてくれた文学上の大なる財宝や、真実な朋友、親切な忠告者、愉快な伴侶を得ることがむずかしいであろう。良書は何をおいても読むべきである。」(「新学社文庫発刊のことば」より)

この文章には、読書の素晴らしさがつづられています。初めて目にしたとき、自分の読書する目的が明確になったことへの感動を覚えています。季節は秋、「読書の秋」とも言われます。良書を手にも夜更かし、本の世界にどっぷり浸ってみたいと思います。



# 30分で読める！「スマホに弱い大人の教科書」

子供たちを取り巻く環境は、私たちの子供の頃に比べ、大きく異なっています。最近では、その環境の変化が加速度を増して進み、ネットに関わるトラブルがどんどん低年齢化しています。現状から、子供たちを守るために、私たち大人もネットの光の側面（メリット）とともに陰の側面（危険性やデメリット）について理解しておく必要があると考えます。右図は熊本県警察、熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会が連携して作成した「スマホに弱い大人の教科書～捜査現場と学校現場から見たホンネ～」という冊子です。この冊子には、スマートフォン利用が身近な少年のインターネットに対する感覚や少年被害の事件捜査経験を有する警察官から見た保護者の関わり的重要性などを紹介されています。とてもわかりやすく、題名通りの内容となっています。詳しくは右のQRコードから直接読み取ることができます。



## 雨ニモマケズ(東っ子編)

始業式に子供たちへの伝えた言葉です。宮沢賢治の詩を参考に「こんな自分に」との思いを込めて伝えました。賢い東っ子たちです。いろんなことに負けず自分を律し、人に本当の優しさを配れる心豊かな人に成長して欲しいことを願います。

### あめにもまけず ひがし こへん 雨ニモマケズ(東っ子編)

あめにもまけず 風にもまけず 雪にも夏の暑さにも負けぬ 丈夫な体を持ち  
欲張らず 友達と仲良くし いつも笑顔でいる  
好き嫌いをせず なんでもおいしいおいしいと食べ  
本物の自分を目指し よく学び 先生や友達の意見を聞き わかり そして忘れず  
明るく にぎやかで きれいな教室にいて  
東に病気の友達あれば 行って優しく接してやり  
西に困っている友達あれば 行っていっしょに手伝い  
南につらそうな友達あれば 行って心配しなくてもいい、私かっていると励まし  
北に喧嘩やいじめがあれば つまらないからやめると言い  
命を感じる豊かな心を持ち 動物や草花を愛し 物を大切にできる  
みんなから 本当の友と呼ばれ 褒められ、認められ、仲良く 一日を過ごす  
そういう人に わたしはなりたい

## 東っ子のかがやき

### 校長先生、入ってもいいですか

最近、校長室に子供たちがやってきました。先日は、「アマビエさまを描きました。」と色とりどりのアマビエさま図画をもってきてくれました。それも、すべて厚紙の額付きです。描いた子どもたち一人一人の目に、新型コロナウイルス感染症の終息を願う心を感じ取ることができました。



## 運動会に向けて

運動会に向け準備を始めました。本年度のテーマは「いつもとちがう運動会 - 東っ子、全カつくしてがんばろう -」です。児童会で時間をかけ、一つ一つの言葉に思いを込めて立てたテーマです。準備・練習から当日まで、東っ子124人で心一つにし、一步成長した自分を見つけてくれるでしょう。当日は赤団、白団に分かれて、競技に取り組みます。それぞれの団のリーダーとなる団長さんを紹介します。

◆赤団 網代晴心さん(6年)  
「赤団をしっかりまとめ、支えることのできる団長になります。」

◇白団 北野美海さん(6年)  
「白団のみんなが頼れる団長になります。」

## 集団体験活動

9月18日(金)に5年生が集団体験活動に参加しました。県立天草青年の家を訪問し、自然を舞台にかいっぱい活動しました。海でペーロン漕艇、山では追跡ハイキング、製作では焼き杉づくりと盛りだくさんの一日でした。掲げた3つのめあて「自然の美しさ、大切さ」「集団生活のルール・マナー」「仲間との協力」が達成できた子供たちでした。



## ありがとうございます

7月水害の本校の被災に対し、天草PTA会様、五和小PTA様から義援金を頂きました。ご支援いただきましたことに深く感謝し、心よりお礼申し上げます。義援金につきましては、被災されたご家庭へのお見舞いとともに、本校の教育施設、教育活動の充実に活用いたします。(写真上:天草PTA联合会様・写真下:五和PTA様 ※どちらも会長様がご来校されました。)



## 校内をぶらり

先日、校内巡視で、子供たちの昇降口(下足箱)をチラリと見ました。すると、あまりの美しさに感動しました。きちんと整列した子供たちの靴。見事でした。「履き物が揃えば、心が揃う。」と言ったものです。さすが東っ子です。

※画像は6年生の下足箱



秀逸です6年生が折った折り紙です。それも一枚折りです。大きさも約5センチという小さい作品です。制作した児童の技術の高さと感性に感動しました。まだまだ作品があるそうです。



すべて彼女の作品です。